



元・長生村長

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2017年 4月 第116号

石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-3094-0321

「認定こども園など、29年度は」

「着手しないが、任期中に建設」-村長答弁

今年の冬は3月に入っても厳しい寒さが続き、春の訪れが遅くなりました。農家の皆さんは田んぼや畑の準備に追われ子供たちは卒業と新年度入学へと進んでいます。それぞれ元気に、成長されることを願っています。国会では森友学園の土地取得への大幅減額問題、東京都豊洲への移転に対する石原元都知事への100条委員会、いずれも国民や都民から大切な税金の使い道の問題です。今回の通信は3月議会を傍聴した報告などを含めた「概略」です。

査助210万円③鳥獣被害防止対策事業223万円④防災備蓄基地事業2090万円 ⑤長生っ子キャリアアップ推進事業205千円⑥スポーツレクリエーション祭り10万円などです。

※おおむね評価できますが、昨年の村長選挙で村民から沢山いただいたお年寄りへの交通確保策としたデマンドタクシーの予算化はなく 残念でした。次に一般質問の一部です。

認定こども園など、施政方針に

いれない理由は

「山口議員」

- ① 村長公約。「3保育所を廃止し認定こども園を建設する。自校の学校給食を廃止し学校給食センターを建設する。」この話が29年度の施政方針に入れなかった理由は何故か。
- ② 八積駅周辺のコンパクトシティー構想は効率的であり賛成できるが、村長がそこに至った理由を伺います。
- ③ 八積駅周辺まちづくり基本計画(案)の住民説明会が1月22日に開催され、パブリックコメントもありました。住民から出された意見について伺います。

「小高村長答弁」

- ① 認定こども園と学校給食センターは平成29年度には着手しないので施政方針には入れなかった。認定こども園と学校給食センターについては検討を加え意見を聴き対応する。



—3. 11東日本地震災害の傷あと・NHK より—

29年度当初予算は

「90億5820万円」で可決

3月7日～10日にかけて村議会が開かれ、テレビモニターで傍聴しました。一般会計「48億6900万円」特別会計「41億8920万円」合わせて「90億5820万円」が提案され反対2名、賛成15名で可決されました。主な新規事業は①おめでとう赤ちゃんプレゼント100万円②妊婦健康診

私の公約であり、任期中に建設をします。

- ② コンパクトシティー構想は、本村は人口減少や少子高齢化があります。村民が快適に暮らせるための八積駅周辺のコンパクトシティー構想であります。
- ③ 住民説明会とパブリックコメントで出された意見は「計画道路22メートルは段階的に整備を」「村内の移動手段の確保を」「計画には反対ではないが事業の縮小を望む」など、9名の意見が出され、参考としたい。

「八積駅周辺の整備は 住民投票しない」—村長答弁

「関議員質問」

- ① 村は第5次総合計画後期計画の策定に向けた村民アンケートで、村に住みにくい理由3つとして「買い物、通勤、通学が不便」が58%でした。村は公共交通が不十分ということです。アンケート結果を村はどう考えているか。
- ② 八積駅周辺まちづくり基本計画の必要性、背景についてお聴きします。
- ③ 八積駅の駅舎を2階にする。南北通路を作る。都市計画道路を作る。これらは駅の乗客数からみると必要ないと思う。村の見解を伺う。
- ④ 八積駅周辺を交通の結節点にする村の考え方がある。八積駅、七井土、茂原駅、高根、尼ヶ台、村役場、中学校から八積駅に戻る。巡回バスが必要と思う。村の考え方を伺う。
- ⑤ 混雑する八積駅南口の安全確保が最優先です。村道と南口駅前広場の改良が必要と思うが村の見解を伺います。
- ⑥ 八積駅周辺のまちづくり計画で予算化する前に住民投票を実施すべきと思うが。

「小高村長答弁」

- ① 第5次総合計画後期基本計画に向けたアンケート調査として、切実な住民の声であり重要なものと考えています。
- ② 八積駅周辺まちづくり基本計画の必要性は、

駅北の整備計画策定から8年が経過したので新たに策定したものです。

- ③ 事業実施は住民の利便性と安全確保を第一として費用対効果の検証をいたします。
- ④ 巡回バスは考えてないが、整備に合わせ公共交通事業者と協議を進めたい。
- ⑤ 住民から「南北から利用できるように」と要望がありますので駅周辺の整備を進めたい。
- ⑥ 八積駅周辺まちづくりへの予算化の前に住民投票を実施する考えはありません。

「火災発生時の防災無線の 復活を」—中村議員

中村議員より「昨年末の高根地区における火災発生で、防災無線の屋外放送をしなかったことで村民の生命が失われたことを村長は、どう考えているのか、以前の様に火災発生には屋外放送を流すべきではないか」との質問に、小高村長からは「今後は自治会から意見を聞き、6月、それ以前にも対処したい。」とのことでした。

※3人の質疑から言えることは①認定こども園や学校給食センターの建設は、29年度は着手しないが任期中には建設する。②八積駅南口を含めると50億円前後(予測)にもなる大型事業への住民投票は実施しない。③防災無線の使い方については、自治会長などに話しを聞き6月前までに対処(以前に戻す)する。ということでした。



3月25日、村の文化会館ホールで議会報告会が開かれました。

Q、保育士の待遇改善、認定こども園の建設は白紙、ふるさと納税の返礼などはどうなっていますか。
A、保育士待遇改善は請願の中身です。認定こども園、学校給食センターの建設はこれからです。ふるさと納税への返礼は3割です。

Q、一松川口の排水門が砂で堆積している。集中豪雨が心配です。海苔が不作で対策が必要。

A、村に要望していきます。

Q、長生村の地盤沈下についての見解は

A、議会としては研究していません。

Q、私道の舗装促進と駅北側の開発は反対、南口を整備することではないか。

A、難しい問題ですが、村に要望していきます。

※次に、八積駅周辺まちづくり基本計画(案)に対し、パブリックコメントで提出した石井としお後援会の意見書です。

八積駅周辺まちづくり基本計画案 への意見書

2017年2月16日

石井としお後援会代表 小宮山伸廣

1 今回の八積駅周辺まちづくり基本計画案の策定にかかる全体の事業内容を明らかにしてください。また全体の事業費はいくらになるのか、何年度から事業を実施するのか、教えてください。平成21年3月に計画策定された計画では「駅舎改築、南北通路、エレベーター、北側のロータリー、22メートル道路などを作る」となっていました。昨年2月に議員に資料説明された計画事業費で良いのか、(長生民報号外では43億円と書いてあります)、村からの説明をお願いします。

2 今回の八積駅周辺まちづくり基本計画案は1月22日の住民説明会で「3月までに決める」と言っていましたが、3月議会において議案を提案し議会の議決を得るということでしょうか。教えてください。

3 中央公民館の建て替えは良いとしても、学校給食センター、認定こども園の建設は基本計画案には入っていません。村長の公約でした。

何故、今回の基本計画案から外したのか理由を教えてください。第5次総合計画後期計画の中でやるのか、やらないのか教えてください。認定こども園は3つの保育所廃止を伴うので反対です。給食センターは衛生面や食育もなくなるので、現状の自校方式を守るべきであり反対です。

4 総事業費「43億円」もかかる今回の基本計画案です。国の補助金が「 」割で、村の持ち出し財源が「 」割なのか教えてください。計画実行した後の財政4指標がどう変化するのか、教えてください。「最小の経費で最大の効果」が自治体経営の大原則です。今も人口減少がありこの先も減少が予測される中、駅舎改築、南北通路、駅ロータリー、22メートル道路など全体計画の修正、縮小などに努め、村民の声を聴き、見直ししてください。

今、村民にとって必要なことは交通手段のない方、お年寄りや障がい者などが利用する外出支援サービス、福祉タクシーなどの利用助成を高め、デマンドタクシーを導入することだと思います。そして村全体を考えた「まちづくり」を行い、安心して生活できるようにしてください。

5 八積駅周辺を活かすことには賛成です。しかし莫大な事業費がかかりますので、慎重に計画を進め、利用者と村民の意見を聞き合意が必要です。計画の素案説明、パブリックコメント、基本計画の策定、住民説明などを通じ、最終的には「住民投票」を行い、最終判断をしてほしいと思います。以上

※次に役場のホームページで回答された、パブリックコメントの一部回答です。「事業にかかる財源確保と健全財政が続くのか」、「住民投票を実施してほしい」などの意見には無回答でした。

八積駅周辺まちづくり基本計画の策定に関するご意見と回答（パブリックコメント）

「八積駅周辺まちづくり基本計画」の策定に関するパブリックコメントに対する村の考えをお答えします。

なお、本計画に記載のない事項については、貴重なご意見として承ります。

	案に対する意見（要旨）	回 答
中央公民館の整備に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の移設ですか？認定子ども園や給食センターの話がありますが、このまちづくり計画には入っていないのですか。 ・透明性をもった情報開示とともに住民の意見を聞く機会を作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館は、築45年が経過しており、施設の老朽化及び併設されている文化会館の駐車場不足の問題から移設することとしております。また、認定子ども園、給食センターの計画につきましては、各検討委員会等で検討中であり、今後は、更に立地適正化の検討を行うこととしておりますので、本計画への位置付けはありません。 ・なお、これらの情報は開示に努め、多様なご意見を伺います。
計画全体に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・計画には反対ではないが、計画の縮小を求める。 ・南口駅前広場を整備し、駅北側地域は、生活道路の整備や排水対策を実施すべき。 ・駅周辺を交通の結節点とするためには、村内の拠点施設を巡る巡回バスや市町村をまたぐ公共交通が必要と考えます。 ・全体的にあれもこれも実施するのではなく優先順位を付けた事業化をする必要がある。 ・計画から完成まで数年にわたる事業になると考えられますので、将来を見据えた全体計画として情勢の変化に対応できるように柔軟に進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施にあたり、段階的な整備計画を策定し、少ない費用で最大の効果が得られるよう事業を進めてまいります。 ・住民意見として、南北から駅が利用できるよう利便性・安全性を確保してほしいなどの意見が多いため、駅を中心とした周辺整備を実施していく考えです。 ・八積駅の交通結節点としての機能を強化するためには、駅への交通手段の確保が必要となります。現時点では、そのための巡回バスの運行については考えておりませんが、整備に併せて公共交通事業者との運行に係る協議を進める考えです。 ・ご意見のとおり、事業実施にあたりましては、優先順位を決め事業を実施してまいります。 ・社会情勢の変化や上位・関連計画の改定時には、計画を見直すなど柔軟な対応をしたいと考えています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の移動手段を確保すべき。（デマンドタクシーなど2件） ・児童生徒の人数が年々減少しているため村の小学校を1校にまとめる工夫をした方が良いのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重なご意見として承ります。 ・長期的な視点に立った貴重なご意見として承ります。

村民の声を頂きました・投稿

▼久しぶりの石井としお通信ですね。待ちわびていました。通信が出ないと村の動向がさっぱりわかりません。石井さんは主張するだけではなく人の意見をじっくり聞いてくれるので民主的だと感じます。待っている人がいるのでどんどん通信を出してください。お願いします。（高根 Y・A）

▼村長選は私たち支持者に取っては本当に残念な結果でした。「村民の声を聞いて政治を進める」ことをモットーにする石井さんがこのまま村の政治の世界からいなくなるのか？と思いますと寂しくなります。どうか民主的な村の政治をのぞむ村民のためにもう一度立ちあがって下さい。よろしくお願いします。（一松 I・K）

編集後記

▼6年前に襲った3.11東日本地震災害は私達、国民にとって忘れられない災害でした。国は原発再稼働ではなく、自然再生エネルギーで電力を作ること。県は危険なオスプレーの木更津定期整備に反対すること。長生村は村民ニーズのあるデマンドタクシーを導入し、八積駅まちづくり計画は住民投票で決めて頂きたいと思えます。

▼29年度の当初予算に認定こども園と学校給食センターが入ってなくて救われました。2月に発生した立川市の給食センターでノロウイルスが発生し入院騒動でした。大切なことは自校給食による子供達の安全と健康が一番と考えます。（後援会内部討議資料）